

馬場小室山遺跡フォーラム」第71回ワークショップ

【原動力！パブリック・アーケオロジ-2016】

馬場小室山遺跡のパブリック・アーケオロジ-からみえてきた現代社会との「かかわり」と未来への新たな挑戦

1. 【「山田湾まるごとスクール」の前史から展開へ】:「あれから5年」の活動を整理してみよう！

★「山田湾まるごとスクール」事業刊行物(目録担当:五十嵐聡江)と新潟大学関係刊行物(目録担当:齋藤瑞穂)の紹介を含めた全体像は機会を改めることとし、取り急ぎ今回は「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実施情報、NPO 法人野外調査研究所刊行物などでの紹介、及び山田湾に関する研究などを整理するならば、地域研究の推進と地域資源の活用という二本柱が、復興に向けての目指す方向になります。

(シ):シンポジウム、(展):企画展示、(発):学会等発表、(研):論文・研究ノート、(紹):資料・実施報告など

<2011(平成 23)年>

(シ)11月13日(日) 10:00-16:30 於:さいたま市緑区プラザイースト/多目的ルーム

『シンポジウム 顔晴れ、東北魂！一馬場小室山遺跡からのエールー』

基調報告:齋藤瑞穂「3・11東日本大震災から8か月、今、三陸の文化は？」

パネル・ディスカッション:「三陸先史遺跡の底力！一馬場小室山遺跡からのエールー」

<2012(平成 24)年> 第1回「山田湾まるごとスクール」開校(8/23(水)-8/25(金))

(紹)鈴木正博・齋藤瑞穂「三陸・山田町まるごと博物館」構想可能性調査<速報>『野外研ニュース』第28号

齋藤瑞穂「ワンダートラベラー・山田湾まるごとスクール実施報告」『野外研ニュース』第29号、NPO 法人野外調査研究所

<2013(平成 25)年> 第2回「山田湾まるごとスクール」開校(8/30(金)-9/1(日))

(発)齋藤瑞穂ほか「復興支援とパブリック・アーケオロジ-の役割ーワンダートラベラー・山田湾まるごとスクール」の試みからー」『日本考古学協会第79回総会 研究発表要旨』

(研)鈴木正博「陸中・山田湾文化の先史海獣猟」『動物考古学』第30号、動物考古学研究会

鈴木正博「三陸・山田湾周辺の自然と先史文化」『野外調査研究所報告』19・20 合併号、NPO 法人野外調査研究所

齋藤瑞穂「山田湾沿岸地域における弥生時代開始期の動向」『実践!! パブリック・アーケオロジ-』、馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム

齋藤友里恵「山田湾周辺地域における中世城郭研究の第一歩」『実践!! パブリック・アーケオロジ-』

<2014(平成 26)年> ★川端弘行会長に不慮の事故★

(シ)11月24日(祝) 10:00-16:30 於:さいたま市緑区プラザイースト/多目的ルーム

『<陸中・山田湾文化復興祈念>秩父と見沼合同シンポジウム ようこそ「山田湾まるごとスクール」へ』

講演:小岩清水「私の故郷、山田湾周辺の自然環境」

基調報告:五十嵐聡江「ようこそ「山田湾まるごとスクール」へ」

活動報告1:齋藤友里恵「山田湾文化の遺跡を歩く」

活動報告2:井山紘文「山田湾との出会いを描く」

パネル・ディスカッション:「陸中・山田湾に魅力を語り、未来に継承しよう！」

(発)五十嵐聡江「山田湾まるごとスクール」について《要旨》『HUMANOLOGY(人間学研究所)通信』no.67、人間学研究所

(研)鈴木正博「陸中・山田湾文化の八世紀土師器に学ぶー物語的鑑賞という演繹から年代的系統的秩序という帰納への転換を目指してー」『人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書 第276集 型式論の実践的研究II』、千葉大学大学院人文社会科学研究所

(紹)蔵 俊雄「古代の山田湾文化を知る！ー貞観三陸地震と山田湾ー」第2回山田史談会・山田湾まるごとスクール交流研究集会ー『秩父と見沼合同シンポジウム ようこそ「山田湾まるごとスクール」へ 資料集』

川端弘行「三陸山田町内に所在する昭和8年大海嘯碑について」『野外調査研究所報告』22

吉川國男「津波記念碑に学ぶことと活用について」『野外調査研究所報告』22、NPO 法人野外調査研究所

<2015(平成 27)年> 第3回「山田湾まるごとスクール」開校(8/21(金)-8/23(日))

(展)2月28日(土)-3月1日(日) 第3回コムナーレ・フェスティバルと同時開催/被災地支援展示・交流サロン(3/1(日))

於:コムナーレ(さいたま市)9F 多目的展示コーナー

(研)鈴木正博「陸中・山田湾文化の8世紀土師器に学ぶ(第2報)ー人類活動の順序と地域間の連絡・交渉から見た「山田湾式」の出現ー」『人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書 第290集 型式論の実践的研究II』、千葉大学大学院人文社会科学研究所

五十嵐聡江・齋藤友里恵「パブリック・アーケオロジ-による復興支援」『遺跡学研究』第12号、日本遺跡学会

(紹)蔵 由美「岩手県山田町内と浄土ヶ浜の津波記念碑について」『野外調査研究所報告』23、NPO 法人野外調査研究所
尾崎康彦「第3回「山田湾まるごとスクール」参加日記」『野外研ニュース』第38号

五十嵐聡江「第3回「山田湾まるごとスクール」参加者アンケート結果(概要)」『野外研ニュース』第38号

<2016(平成 28)年>

(展)3月1日(火)ー6日(日) 第4回コムナーレ・フェスティバルと同時開催／被災地支援展示・交流サロン(3/6(日))
於:コムナーレ(さいたま市)9F 多目的展示コーナー

2.【第4回「さいたまスタディーズ」】:県史跡・馬場小室山遺跡の「縄文塚」と「見沼文化」の紹介

- ・「さいたまスタディーズ」は、「先史時代のさいたまとは？」が知りたいようです。そこで先史時代は環境適応の時代であり、「**水は生命、河は文化**」という方針から、先史時代における河川の変遷が重要であり、縄文時代の「見沼文化」は埼玉平野の文化的中心地域であることを示しました(次回配付予定の図版参照！)。
- ・縄文時代の特徴は後期旧石器時代からの変革として以下の6点に要約しました。
 - (1)土器使用の多様化と土偶等土製品の発達
 - (2)弓矢・磨製石斧等の使用と石材調達
 - (3)木器・編組製品等多種素材道具類の発達
 - (4)海産資源の獲得と魚食文化の発達
 - (5)製塩遺跡等の分業による定住制社会の出現
 - (6)ウルシ・クリ・マメ類(ダイズ属・アズキ亜属)等の栽培
- ・馬場小室山遺跡に見られる**晩期定住制社会**とは、**社会の複雑化による集団構成の重層化(生業別集団構成の高度化)**と**居住コミュニティの維持を両立させるための社会制度**であり、①「**第51号土壌**」と「**人面文土器**」に代表される**祖霊崇拜**、②代々居所固定方策として「**環堤土塚**」の形成、及び③**製塩土器の分布が示す「東京湾海域生業往還」(縄紋式潮汐エンジンによる河川往還ネットワークの発達)**が三大特徴です。
- ・そこで昨年からは「見沼文化」概観において以下の区分を新設することにしました。

見沼<「縄文塚」の文化> : <水辺と漆の文化>は後期後葉～晩期中葉にも続くが、新たに祖霊崇

拝による多世代長期定住的な様相が強い集落形成が行われ、馬場小室山遺跡や氷川神社遺跡では150m前後規模で独特の「**環堤土塚**」(土塚は環堤以外にも馬蹄形の「**環状土塚**」などの形態があり、「**縄文塚**」と総称)が形成される。

★「**土偶付土器**」や**中空土偶**も出現し、更に**土版**、**人面文土器**などの非日常の道具や祖霊崇拜も兼ねた地下施設(「**第51号土壌**」)が継続する。土器や人面文、ヒスイ製玉には「**渡良瀬川文化**」の影響が強く窺われる。

★所謂「**製塩土器**」も必ず検出され、丸木舟による東京湾との交流も活発に行われる。東北や中部のみならず、東海系土器の出土も目立ち、**馬場小室山遺跡・前窪遺跡と氷川神社遺跡・寿能泥炭層遺跡**は「見沼文化」における**晩期安行3式「定住制社会」の拠点集落**を代表する。「**縄文塚**」の終焉が**安行式文化の終焉**となる。

・馬場小室山遺跡の終焉を知るには、**前窪遺跡**(報告書近刊予定)からのメッセージが参考になり、あたかも「縄文塚」の反動かのように**窪地集落**を形成する新たな集団が顕在化しますので注目しましょう！

3. その他、ワイン・アーケオロジーによる情報交換会など :

3-1. 遺跡情報(第72回ワークショップから内容の解説を開始します！)

(1) 岩手県立博物館平成27年度特別展『海に生きた歴史—復興発掘調査が語る一万年の海との共生—』

- ・川向聖子さん(山田町教委生涯学習課係長)の渡磯浜における製塩炉調査写真に感激し、今回の展示パネルでも使用させて頂きました。山田町で調査された遺跡が多く紹介されていたので、川向さんが文化財関係者を引率して見学する機会を設けたことを川端弘行会長から教えて頂きました。
- ・浜川目沢田I遺跡(中期の集落(ヒスイ製品・琥珀)と晩期の包含層)、沢田III遺跡の堅穴住居址から貝ブロック、岩ヶ沢遺跡で剣形石製模造品(古墳時代)、焼山遺跡で平安時代後半と中世前半の製鉄炉

(2) 埼玉県史跡指定にかかわる馬場小室山遺跡第32次調査報告書刊行

- ・**製塩土器1,000点以上の出土**が記述され、200点以上の実測図が掲載されています。輪積痕作法も目立ちます。石神貝塚でも「安行3c 式」の古い時期まで貝層を形成していますので、輪積痕作法に注目した両者の製塩土器の関係が知りたいところです。

(3) 氷川神社遺跡発掘調査報告書刊行

- ・馬場小室山遺跡の「**環堤土塚**」と**共通する地形**は氷川神社遺跡以外は未明なため、注目しています。

3-2. 今後の予定

(1) 第72回ワークショップ(3/27(日):恒例のお花見)

- ・(AM) **見沼たんぽでフィールド・ワーク** → (PM) 三室公民館で第4回「さいたまスタディーズ」の振り返りと3-1の遺跡情報詳細解説など

(2) 第73回ワークショップ(5/4(みどりの日))

- ・(AM) 毎年恒例の**クリーンアップ大作戦** → (PM) 三室公民館で**再葬墓出土のヒスイ勾玉と管玉**について研究の現状と展望を議論(担当:宅間清公さん)

以上